

第6回（リーガル・テクノロジー）Ji2 ニュースメモ

弊社 Ji2 では弁護士事務所・法務・知財部の方々向けに、日本語でのリーガルテクノロジー（法務技術）を簡単に読みやすいメモ形式で毎月発信させて頂いております。内容は、使える米国トレンドや、訴訟コストの削減、訴訟対応のベストプラクティス、電子情報開示の注意点、知って得するケース紹介などを弊社米国事務所より発信します。

【米国ケース】 訴訟対応のための文書管理・回収システムの必要性 (Magana v. Hyundai Motors America 2009, Washington)

シートの欠陥が事故を引き起こしたとして、原告がヒュンダイモーターを提訴。2000年以降の原告からの数々の開示要請にヒュンダイが従わなかったこと（証拠破棄、法務部内のデータ検索のみに限定した等）が問題となった。法廷は事実審の欠席判決を支持、800万ドルの支払いおよび、原告の弁護士費用、上訴審の費用などの支払いを命じた。また法廷は、賠償金が事実内容ではなく、E ディスカバリー違反に起因するものである事を明確にしている。
<http://www.wasupremecourtblog.com/tags/magana-v-hyundai-motor-am/>

【米国】 データの重複排除によるコスト削減

昨年、eDiscovery Institute が重複排除処理によるデータ削減に関する調査を実施し、18のベンダーによる回答を公開しました。調査報告は一貫して案件レベルでの重複排除を推奨しています。カスタディアンごとの重複排除は比較的シンプルである反面、データ削減量では案件レベルの処理には勝てません。最終的には案件の内容・規模、対象データなど様々な要素を考慮して柔軟に対応し、処理の過程を適切に記録することがプロセスの有効性を確立するためには重要ですが、データを大幅に削減できる案件レベルの重複排除は、E ディスカバリーのコスト削減にはやはり大きなプラスです。

【米国】 LegalTech NY2010 速報

北米最大のリーガルテクノロジーの展示会である、LegalTech NY が今月2月1日から3日までNYにて開催され弊社も出展しました。昨年は経済危機のため参加者、ベンダーの参加が伸び悩みましたが、今年は過去最高の1万3千人以上の来場者と総勢241社のベンダー（eDiscovery・Litigation サポートベンダーは96社。2009年は総勢165社）が参加しました。会場は熱気に包まれ来場者のリーガルテクノロジーへの関心の高さがうかがい知れました。今年の傾向として弁護士事務所、クライアントのコスト意識が高くなったことから eDiscovery 市場での競争が激化し幅広い価格体系をオファーすると共に、GBいくらというシンプルな価格体系でサービスを行うサービスベンダーが増えました。続きはこちらから <http://www.ji2.co.jp/ediscoveryblog/?p=541#more-541>



<http://www.eddupdate.com/2010/01/ltny-tminus-12.html>

(Ji2 ブースの様子が eddupdate.com に掲載されました。)

【Ji2】訴訟/監査/監査時のデータ対応プロセス構築 スターターキットのご案内

Ji2では、「Eディスカバリー事前対応の社内プロセス構築」と「弁護士事務所・ディスカバリー業者への作業外注コントロール・プロセス構築」を目的としたスターターキットを販売開始しました。スターターキット導入のメリットは、社内訴訟プロセスを構築することにより、知財・法務部がEディスカバリープロセス全般にわたってコントロールすることが可能となり、訴訟対応コストの大幅削減が可能になります。この度、米国企業内の訴訟対応ツールで最も採用率が高いメーカー2社の日本語対応ツールの最新バージョンがリリースとなりましたので、それにあわせ年末までの期間限定・特別価格にてご提供させて頂いております。

■ Ji2 スターターキットへのお問合せは[こちらへ](#)

■ 弊社 Ji2 では「法務部・知財部の情報開示(Eディスカバリー) 対応簡易ガイド(1) -2009年8月版-」を無料で送付させて頂いております。本ガイドでは、日本企業内でのEディスカバリー対応の米国スタンダードを日本語で紹介しております。入手ご希望の方は弊社 Ji2 担当保元までメールをお願いします。info@ji2.co.jp

『LegalTech in West Coast 2010 に出展します。』

訴訟関連のIT技術(リーガルテクノロジー)の最大のイベントであるLegalTech West Coast 2010 が、2010年6月23日、24日にLAコンベンションセンターにて開催されます。Ji2では毎年恒例のLegalTechに出展いたします。来場の際は是非、弊社のブースにお立ち寄りください。<http://www.legaltechshow.com/> ブース番号 #128

日本企業様向けに日本語でのEディスカバリー情報(電子情報開示)を米国より発信しております。

ぜひ一度ご覧ください。>> [Ji2 eDiscoveryブログページ](#)

■ eDiscoveryサービスへのお問合せは[こちらへ](#)

ニュースメモは毎月頭に弊社とお取引させていただいた方々や、セミナーで名刺交換させていただいた方々にお送りさせて頂いております。ご希望の方は info@ji2.co.jp までご連絡下さいませ。

今後とも是非、ニュースメモに目を通して頂きますよう宜しくお願いいたします。

発行・編集 Ji2, Inc. 11235 Knott Ave., Suite C, Cypress, CA 90630
Phone: 714-243-6121

このニュースメモに掲載された記事を許可なく転載することを禁じます。(C) Ji2, Inc.